こすど公民館報

発行所　小須戸町公民館
発行人　間野良知
発行日　毎月15日
一部15円
印刷所　昭栄堂印刷所

基本図書を中心に「田中文庫」開館

～12月22日より～

最新式の書架、各部門からの要望に応え得る豊富な内容の書籍。まさに町民待望の図書室がオープンします。

「町だより」三三号でお知らせしましたとおり田中文庫を十二月中に開館したいと、着々作業を進めております。

あくまでも寄附者のご趣意に添うようにと「田中文庫設置及び運営に関する規定」を設け、特に選任された運営委員（町助役・教育長・社会教育委員長・小中学校長・公民館長・全副館長・社会教育指導員）により県立図書館を訪問指導を受けその後数回の会議をもち大綱を定めました。

その要点は

(1)基本図書に重点をおき各分野にわたって相当高度のものを入れる

(2)図書の選定は専門委員を依嘱してこれに当る

(3)資金一千万円は早期に全額図書購入に充てる

(4)利用者は来館閲覧を原則とし貸出しはしない

(5)十二月中に開館できるよう準備を進める

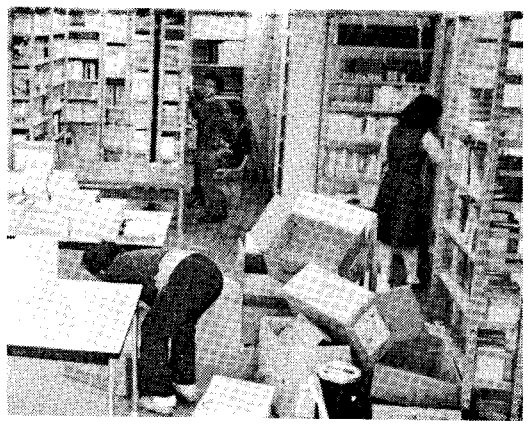
ということでした。

第一期作業として、お願いした選定委員（木村副館長を中心に、学校教職員、その他合せて十一名）の方々の涙ぐましいまでの真剣なご努力により、各分野四二九種、約三千冊が選ばれ発注されその大部分が既に着本しました。金額にして約六百万円であります。書架も最新式の連動式のもの外、全部が新しいものとなりました。

第二期の選定作業も現在着々と進められていますが、特に前期で足りなかった部門（郷土関係・政治経済、産業、法律）等に重点を置いています。

取敢えず第一期分をもって開館を行い、待ちに待たれた町民の皆さんからご利用いただくことになったのであります。

図書目録は余りにも膨大なため上載できないことをお詫び致します。



急ピッチで進められる整理作業

第4回町民元旦マラソン大会

主催　体育協会

次の要項で行いますので多数ご参加ください

◇参加規定＝中学生以上男女
小学生は参加できません

◇スタート＝午前十時公民館前

◇コース＝当日年代別に説明

◇表彰規定＝参加者全員に記念のゼッケンを進呈　順位なし

投稿二題

議員の定数減少を望む

矢代田　壺屋徳一

地方行財政―危うし資金繰り……地域の経済なり、社会を望ましい方向に発展させようとするとき、新らしい行財政の需要が果てしなく続く。

限られた財源を膨大な需要にどう応えどう配分し、最大限の効果を上げるべきか？課題の多い今日この頃である。

これは資金担当者の知恵と工夫に待たれるところが大きいが―

私は「議員定数の減少」を提言する。このことについて既に数名の町議にお話しをした。

また、これについて某町議は十二月議会に提案しようと準備中とのことであるが、これらは私たち退職議員連盟の者はもとより、老人クラブはじめ小中学校PTAだけでなく保育園・幼稚園の関係の皆さん、だれ一人として拍手を惜しむ者はないと思う。

二十二名の議員諸公の中に、まさかこのような近年まれな議員の提案に反対する者はいないと信じるが、なお万一を考慮の上、私は退職議員連盟に或は矢代田地区集会等で皆様の意志を確認の上ぜひこのたび「議員の定数を減少」して、かつてない財政危機を少しでも打開して、住民福祉に貢献してもらいたい。

見附・加茂・村松に見ならって、十六人ないし十八人に減少し、その分を小・中学校の改築費に或は高校誘致の為の基金、また老人福祉センターの建設費等の充当に貢献されるよう、世論の喚起をうながすものである。

ここで他市町村の状況を比較してみると、次のとおりである。

市町村名	人口（49年）	現在の議員数
見附市	四一・三三一	二二名
加茂市	三七・四四一	二四名
村松町	三・九七	二二名
小須戸町	一〇・六七	二二名

議員一人減少することによって年間約一〇〇万円の経費が節約できる。二十年ぶりの財政危機でやれ歳入欠陥だ、やれ財源の再配分などと新聞に財政記事の出ていない日はない。いやしくも住民へのサービスの低下を招くことのないよう、当事者も真剣に取組んでもらいたいことを期待する。

「社会成仏」の議会報告に関連して一言

本町一　梅津英五郎

去る九月町議会一般質問で、私が「労働組合というものは大へんいやな政治経済（産業、法律）等に重点を置いています。

取敢えず第一期分をもって開館を行い、待ちに待たれた町民の皆さんから

去る九月町議会一般質問で、私が「労働組合というものは大へんいやな存在である」と発言したと「社会成仏」なる議会報告に書かれてありましたが、これは全くおぼえのないことであります。

私自身、労働組合は「いやな存在」ではなく「恐しい存在」と思っているのです。私の質問要旨は「教育委員会の一職員が、勤務時間外とはいえ、ある会社へ行って労働組合をつくらせる運動をしているという噂がある。公務員は全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではないと法に定められているのに、そのようなことをして教育長は好ましくない事とは思わないか」というのでありました。

これに対し教育長は「好ましくないと二・三度注意したが、言っても聞き入れないので仕方がないと思っている」といった答弁であり、教育委員長は「二・三度注意しても言うことを聞かないのは仕方がないではすまされない―後略」と答弁されたと「社会成仏」には書いてありました。その上教育委員長から発言弁明文書までとったというのですから役場職員組合というものは本当に「恐しい存在」だと思ったのは私一人ではないと思います。

個人の思想良心、言論表現の自由は憲法で保障された、それこそ基本的人権であるはずなのに、こうしたことが職員組合で平然と行われることは常識では全く考えられないことであります。

更に組合のチラシに小須戸町の役場職員組合員は「全体の奉仕者論」と決別宣言したというのを見せられて、一層驚きを深めました。

「社会成仏」の投じた一石が、こうした波紋にまでひろがったのですが、私はあくまで役場職員は町民の公僕であり、全体の奉仕者であると思います。敢えて任命権者の指導監督を切望するものであります。

趣味と実益！陶芸教室を開催

レインボープランの一環

本年四月以来、公民館で長寿大学と青年学級を対象に楽焼教室（講師・西潟政市氏）を行ってきましたが、作品を焼く窯は中学校のものをお借りしていた状態でした。

このたび老人生きがい対策事業（レインボープラン）の一環として、陶芸と園芸の実技実習教室が、憩いの家の花壇の処に完成しました。

どのような陶器も焼ける最新式の立派な窯も設備されましたので、素朴な手作りを味わいたい方や興味をもたれる方、多数ご参加下さい。

現在の予定では月二回（一回は平日とし、一回は日曜）行いたいと思います。なお、お年寄りの参加はもちろん一般に広く開放していきたいと思いますので、参加ご希望の方は中央公民館あてに申し込んで下さい。

電話二二三四番

会場…楽焼実習室

時間…午後一時より

会費…材料共二〇〇円

室内レクリエーション大会

＜多数ご参加下さい＞

3階大ホールの赤いジュウタンの上で、思いきり飛んだり跳ねたりしましょう。

日時＝1月11日9時より

会場＝中央公民館大ホール

長寿大学案内

学習予定

十二月後半

一七日（水）民踊

一九日（金）園芸

二二日（月）書道

二六日（金）家庭

一月前半

日（木）囲碁ク（休）

七日（水）民踊ク

九日（金）園芸ク

一一日（月）楽焼教室

一二日（月）書道ク

一四日（水）家庭ク

一五日（木）囲碁ク

◇はじめての全日学習

去る十一月二十一日かねての懸案でありました弁当持参の一日学習を実施いたしました。出席者約百名。午前中はフイルムフォーラム（映写を見ての話し合い）として「北国のとも子」とマンガ。町部、川沿、山の手と新保竜玄の三室に分れ、お互いに自由な話し合いをしました。『開拓地の厳しい生活環境の中でも心温かい人間味のある家庭に育くまれた少女が、老人医療の病院の看護婦として、一人一人の入院患者の老人を通じて学びとった人間性などについて』楽しく話し合いました。

やがて思い思いに持参したお弁当は、きっと嫁さんや若いお母さん達の心づくしのものでありましょう。中食には連合婦人会栄養教室の方々のご奉仕で作っていただいた温かいナメコ汁で、心も体もなごやいだ中食となりました。婦人会の皆様有難うございました。

午後は北蒲笹神村光円寺の住職、渡辺豊師によるお話しと指人形、柔和なお話しぶりと土地の言葉そのままの素朴さと気安さに一同引きつけられ終始頬と腹の皮がゆるみっぱなしの楽しいお話しでした。どこの家でも、どの村にも毎日交されている老夫婦の会話、嫁と姑の間の誤解、若者と老人との理解の仕方など、人形を通じて考えさせられることの多い「こくの深い」内容でした。

「何んだかおれの家だのおれの心の中を人形がしたような話しで、さばさばした」という明るい気分になったのは私一人でなかったでしょう。

渡辺師は二十数年人形劇を研究され、県下はもちろん東京へも招かれて席の温まる暇もないとのこと、本当に有難うございました。

続小須戸風土記

土俗信仰(五)　地蔵さまと地蔵講

柏大治

徳川中期と思われますが、越後延命地蔵四十八カ所霊場というのがありました。

これは石仏でなく木彫で、寺院に祭られていた地蔵さまですが、おそらく小須戸の茂林寺延命地蔵さまも、昭和十二年重要文化財に指定になる前に、その一仏と推定しています。現在小生のわかるもので四・五カ寺位で、民俗学者や宗教家も解明しておりません。

明治三十四年六月一日の小須戸大火の際、新保正福寺現住間野良知師の先住が、新保から素足でかけつけ台座が焼け、まさに焼失せんとするお地蔵さまを背荷って救いだしたことでも、当時からいかに茂林寺さまのお地蔵さまを尊敬していたかを物語っております。

ただ、観音さまの三十三カ所札所とか霊場というのは納得がいきますが地蔵さまの四十八を選んだということは、何を意味するのか小生の永年の疑問で、六道能化の地蔵さまの精神からいって、一切衆生を仏にしたいという誓願からしても、どんな極悪人でも極楽浄土に参らせるという阿弥陀如来の四十八の本願から地蔵さまの越後延命地蔵四十八所霊場を選定したものと確信します。まだだれが選定したか、このことについてはなお研究しなければなりません。

矢代田高ヶ沢諏訪神社入口にお地蔵さまが一体祭られています。これは本間組に勤務の穴沢貞吉氏が、昭和三十三年十一月二十三日に新津市中新田の阿賀の川から工事中に発見したもので、穴沢氏は同級生が全部戦死したのに自分一人が復員できたので、まず同級生戦死者の供養の為に持ち帰り祭ったもので早速矢代田西善寺先住職坂口哲禅師に鑑定を依頼した結果大正初期の大水害の際に福島県会津若松地方から流れてきた石仏と断定、「水底出現南無地蔵大菩薩」と命名、今日に至って信仰されています。

信者は霊験あらたかだと地元矢代田は勿論、新潟・新津・五泉・加茂方面から参詣があるそうです。また高ヶ沢公会堂近くに昔から地蔵尊が一体あります。これは旧火葬場の地蔵さまかと思われます。矢代田高ヶ沢地区は地蔵講も盛んで、穴沢氏は今でも講の世話方役として毎月二十三日には講に参加して熱心に地蔵信仰されているはずです近年の美談と思います。

地蔵さまは大洪水でどれだけ紛失しているかわかりません。

黒埼町木場方面へ行くと、洪水のたびに流されては拾われ祭られている地蔵さまがあります。村の人達はそのたびに田畑に被害を受け、その地蔵さまを「貧乏地蔵」などと言って、過去を懐しがって信仰しています。

地蔵さまは道標の一里塚に利用されたり、町や村の道路整備等でも相当紛失しています。

木彫より石仏の方が古いので、石仏を大切にしたいものです。

地蔵さま信仰は七世紀頃と学者は言っていますが、越後には何世紀頃この信仰が入っているのかどこの県が一番地蔵信仰があるのか「鈴」は神さまに使用しているのに、地蔵さまの古いものほど鈴を上げているのは何故か、色々研究してゆくと大和民族の根本にふれることになります。地蔵信仰の分類や講の組織などなおくわしく研究する必要があります。まだ〳〵多くの地蔵さまが祭られています。小生宅にも一尺たらずの木彫「越後ごぜ」が持ち歩いたという「ごぜ地蔵」があります。

第1回町民展 総合スポーツ大会終る

～7種目に熱戦～

第一回町民展の美術部門と平行して行われた総合スポーツ大会も全種目が終了。卓球大会のように今年で三十回目を迎えたものや第一回大会のソフトボール等々、全部で七種目を行い、多数の参加を得て大へん盛大でした。

来年はより以上の参加を期待しています。

文化の日を中心として繰りひろげられた総合スポーツ大会は、町で推奨している「町民体力づくり運動」の一環として行われている各種目のスポーツ大会を一括して行うことで計画され、公民館主催のもとで体育協会の各クラブ部門が主管となって行われた。

◉ソフトボール大会

十一月二日、中学校グラウンドにおいて職場やグループ単位八チームが参加、各チームごとに女性を三名以上含むというルールで熱戦を展開。

終了寸前に雨に降られたが無事終了。

成績は次のとおり。

一位　赤陽チーム
二位　日之出チーム
三位　四ツ葉会Bチーム
〃　卓球クラブチーム

◉駅伝大会

十一月三日、当町一周十三・五㎞計六区間に五チームが参加。今年は参加数が少なく関係者は淋しそうであった。しかし内容は常勝陸協チームに各チームが肉迫、特に二位の庭球はわずかの差でゴールインし、陸協もベストメンバーではなかったが驚いたり感心したり「スポーツの基本」といわれる走ることが、もっと見直されなければ、とはある関係者の声。

成績は次のとおり。

一位　陸協Aチーム
二位　庭球協会
三位　卓球協会

◉バレーボール大会

十一月九日、町民体育館で町長杯（男子）公民館長杯（女子）争奪戦を展開。男子八・女子五の計十三チームが参加し、男子は初の六人制、女子は婦人バレー規則により行われた。

今大会は男子六人制を導入したことと、中学生まで対象を下げたことで今までにない味を出した大会であった。

成績は次のとおり。

男子の部

一位　鎌倉Aチーム
二位　小須戸町バレーク
三位　役場チーム
〃　セブンスター

女子の部

一位　チエリー（中学）
二位　すみれチーム
三位　横川チーム

◉テニス大会

十一月九日、小須戸保育園裏の小須戸分館テニスコートで行われ約七十名が参加。

堤外地にできた総合グラウンドにテニスコートが数面、完成も間近かということもあって、庭球の指導陣は来年の大会に大きな夢をつないでいる。

成績は次のとおり。

◎Aクラス

一位　小柳　弘
　　大貫角夫
二位　関根紀男
　　高橋忠太郎
三位　高井栄太郎
　　中野康之

◎Bクラス

一位　渡辺奈保子
　　栄森直子
二位　三浦正義
　　高橋亨
三位　簑和由紀美
　　高橋千明
〃　須藤正子
　　須藤朝子

◉卓球大会

十一月十六日、町民体育館で第三十回大会を開催、各大会中、最も歴史を誇るもので大会運営もテキパキと堂に入ったもの。それでも参加者数が六十名くらいともなると時間を食うもので、午前十時に開始、終了が午後五時過ぎとなった。

成績は次のとおり。

◎男子個人戦

一位　横山俊樹　高校
二位　星野一也　一般
三位　清水忠夫　〃
〃　森田義昭　〃

◎女子個人戦

一位　小林佐和子　中学
二位　相田明美　〃
三位　小林仁枝　〃

◎団体戦

一位　高校生チーム
二位　中学生A　〃
三位　若葉町　〃
三位　横町　〃

◉バトミントン大会

十一月二十三日、町民体育館において初の町民大会。体育協会に属さない種目であったことと、特に天候もあまり良くないこともあり参加総数約三十名。それでもシングルス・ダブルスをリーグ戦で消化、寒さも吹き飛ばす勢いでハッスル。

成績は次のとおり。

◎ダブルス

（Aクラス・一般）

一位　鈴木・風間組
二位　田沢・古泉組
三位　横山・能登組

（Bクラス・女子及び中学生）

一位　武藤・武田組
二位　高野・松沢組
三位　田沢・横山組

◎シングルス

（Aクラス）

一位　風間忠敏
二位　鈴木美佐男
三位　古泉幸一

（Bクラス）

一位　横山文秋
二位　高野豪康
三位　田沢和道
〃　清水利行

（Cクラス・女子）

一位　武藤裕子
二位　武田陽子
三位　風間祐子

◉県下柔剣道大会

十一月三日、町体と小須戸小学校体育館で盛大に行われた。

団体は次のとおり。

（剣道大会）

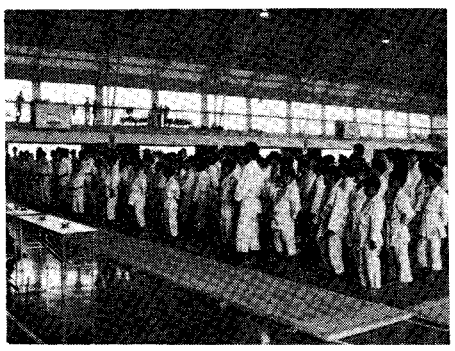
一般男　白根剣道連盟
〃　女　白根高校B
中学男　小合武道振興会
〃　女　佐々木中学校
小学生　立志館

（柔道大会）

一般　新潟北部柔道ク
中学　白根一中
小学　新発田スポーツ少年団

写真上　駅伝大会

写真右　柔剣道大会



分館だより

◎矢代田に民謡研究会が発足

今春四月より若いお母さん方の希望により練習していました会が、このたび矢代田民謡研究会として発足しました。

去る十月四日の民謡発表会にも参加、現在も毎月二回の練習日を持っております。

会員は現在約六十名で目下会員を募集中です。

ご希望の方は次の役員に申込んでください。

会長　坂井ムツ（電話）三四六一
副〃　田沢ヲナ（〃）三九三二
会計　大森ミエコ（有線）五七〇七

定期バスの一部経路変更

十二月十五日から運行経路が次のようにかわります。（ただし休日運休）なお待合所発六時五十分は変更ありません。

◎うでこき停　六・四八
・本町五丁目停留所
・本町四丁目停留所
・中央一丁目停六・五二

スポーツ教室のご案内

中央公民館の主催で毎週金曜午後七時半より九時半まで、町民体育館でバレーボールとバトミントンのスポーツ教室を行っております。参加ご希望の方は中央公民館へお申し込みください。

【青年通信】

佐渡の歴史探訪 青年学級が県内研修

青年の山も閉山式を行う

小須戸町勤労青年学級では、今年度の学習計画の中に、県内歴史探訪を取り入れて越後の七不思議や各地の史跡めぐりを行って来ましたが、去る十一月八日～九日に佐渡へ渡り、相川町を中心に歴史の学習会を行いました。

八日、悪天候で船酔いと闘いながらも無事上陸し、さっそく行動開始。

学級主事の森田副館長に引率され、吉田林哉学級長以下総勢九名が二台の車に分乗し、郡内地図を片手に両津、加茂湖を出発し、各地元の人達の生のお話しを聞きながら目的地へ。なお、旅館に帰ってからは相川町公民館主事の渡辺哲哉さんから詳しい説明を受け、内容の充実した学習会になったと大喜び。来年は県外研修も行いたいと、今から張り切っています。

◎青年の山の閉山式行う

同学級自治会の野外活動の拠点である青年の山も冬を迎え、今月七日に閉山式を行いました。

なお来春の雪どけを待って青年の山の家をもっと大きくする予定です。

お知らせ

中央公民館では、年末年始の休館について左記のとおりとしますので、ご協力下さい。

◇休館日

十二月三十一日（水）から翌年一月四日まで全日休館。ただし十二月二十八・二十九・三十日の夜間は使用できません。

お間違いのないようにお願いします。

・公民館はみんなのものです。使用するときは大切に使いましょう。

来たときよりも美しく

こどもクイズ

さあ！考えて？

つぎの問題の□の中に答えを書いて公民館へ。答え・住所・氏名・学年クラスをはっきり書いてハガキで送って下さい。正解者の中から五名の方に賞品をお贈りします。

一問　新潟県には市が□□あります。

二問　新潟県の県庁所在地は□□市です。

三問　中蒲原郡には町は□つあります。

前号の正解は

一問　白鳥　二問　雷鳥
三問　ニッポン

抽選の結果、次の方々へ賞品をお贈りしました。

大川前五　山崎公江　五年
文京町一小田島幸男四年
本町四矢部かおり三年
〃　木村祐子　二年
新保一坂井かなえ一年

ご寄附三題

◎新潟市学校裏町　小林キイ殿

日頃、公民館報や町だよりを送ってもらっているお礼にと、金三万円を公民館運営費としてご寄附下さいました。

◎新潟市幸西　加藤国一郎殿

田中文庫の選定等、図書運営費の一助にもと金二万円のご寄附がありました。

◎小須戸町本町四丁目　比企政次郎殿

公民館主催の生花教室と長寿大学家庭科クラブで生け花を教えておられる同氏が、花器・剣山五組をご寄附下さいました。

毎々広報活動や公民館活動に温かいご理解、ご支援を賜り感謝しております。これらについて、各位のご趣意に添って充分な活用をさせていただきます。

厚くお礼申し上げます。

中央公民館長　間野良知

電話局からお願い

小須戸電報電話局

◉電話の移転工事等はお早めに!!

家屋の新築・増改築や引越し等で、つい忘れがちなのが電話機移転の申し出のことです。

工事等の日取りに合わせて、あらかじめ一週間前に申し出下さい。

◉家屋工事の際には配管設備も忘れずに

家屋の新築・増改築の際には、ぜひ電話線の配管設備も電気屋さんから取付けてもらって下さい。

引込口や配管設備がないと天井や壁に穴をあけ露出配線となり室内の美観を損ねます。

電話線の引込口は引込柱に最も近い所を選び将来の計画のもとに台数・機種・設置場所等に合わせて、必要な部屋ごとに行って下さい。

またホームテレフォン等新しい電話機を取り付ける場合は、特殊配管が必要ですので詳細は局へご相談ください。（無料）

電話二六〇〇番

寄贈図書

うでこき五十嵐重雄殿より図書のご寄贈がありました。

厚くお礼申し上げます。

◇明治大正昭和の文化
◇日本の祭

購入図書

◇銀嶺の人（上・下）　新田次郎
◇夕ごはんたべた？（上・下）　田辺聖子
◇ブラック・ホール　ジョン・テイラー
◇良寛記念館　加藤喜一
◇空白の天気図　柳田邦男
◇新聞のすべて　福田恆存
◇日本紀行　水上勉
◇複合汗染（上・下）　有吉佐和子
◇アンデルセンの生涯　山室静
◇アジアを犯す　武藤一羊訳
◇高針長英　鶴見俊輔
◇黄昏の橋　高橋和己
◇あとのない仮名　山本周五郎
◇女の部屋　立原正秋
◇午後の微笑　曾野綾子
◇甘い関係　田辺聖子
◇ある昭和史　色川大吉
◇事故　松本清張
◇あゝ江戸城（上・中・下）　柴田錬三郎
◇旅の時間　吉田健一
◇神田川　喜多条忠
◇笑点　新野隆司
◇さびしい乞食　北杜夫
◇求婚旅行（上・中・下）　田辺聖子
◇日教組六つの大罪　大熊昭三
◇牧野富太郎植物記4　庭の花　中村浩
◇甲子園熱球物語　砂田弘
◇悪魔の発明　J・ベルヌ
◇ふしぎ博士のふしぎな発明　ドリフリース
◇少年姿三四郎　富田常雄
◇記録なんでも日本一　紀田順一郎
◇透明人間　ウエルズ
◇たのしいムーミン一家　ヤンソン
◇妖怪魔神精霊の世界　山室静
◇源氏物語　七～十　円地文子

紙面の都合により、わたしのふるさとを今月は休ませていただきます。

十一月句会報

小須戸町俳句同好会

文化の日知り人の書に見ほれけり　四山
晩秋の色濃く立てり佐渡ヶ島　林哉
枯れつくすもの浮きぼりに夕映えり　芳人
鍬の柄に上衣かけ留守畑小春　石秋
残る稲架一とまわりして秋燕　山葵
妻に夜長あしたは手術髪洗ふ　越楼
かたまりて芽吹く刈田のこぼれ籾　虚秋
受箱に新聞音して朝寒し　松山
野分来てとぎれとぎれる広報車　静花
ぜんそくの父にわ早き冬来る　香月
秋晴れやハウスビニール無塔の色　太浪
公園や豆自転車が月に濡れ　樫男

北国の町

中央町三丁目　我妻清作

暮れゆけばみな早早と戸を立てて時雨
冷たき北国の町